



進路だより ―第1号―

令和7年8月29日（金） 福島県立視覚支援学校 進路指導部

『シンロジツゲン(°o°;?)』を『進路実現＼(^o^)／!』にするために
～日々の「何気ない取り組み」を大切に～

教頭 田中 聡一郎

学校生活を送る中でしばしば耳にする『進路』というワード。さて、このワードを耳にした児童生徒及び保護者の皆さん、頭の中にはどんなイメージが広がっているのでしょうか。「仕事?」「大学?」「会社?」「大人?」等々、思いつくことはさまざまかと思います。特にまだ幼小学部・中学部段階だと、まだまだ先のことというイメージで、ほとんどの方は「シンロッテナニ(°o°;?)」状態ではないでしょうか。けれども、安心してください。実は皆さん、常日頃からさまざまな場面で「進路実現」に向けて取り組んでいるのですよ。いくつか例をあげてみます。

例① 規則正しい生活

皆さんは毎日、ほぼ決まった時間に起きて学校に登校していますよね。生活リズムを崩さずに、基本的な生活習慣(睡眠、食事、排泄など)をきちんと身につけることで、心身の健康(体力や集中力など)を保ち、活動の質(時間管理能力など)が高まり、「進路実現」に向けて一歩前進しています。

例② あいさつ

朝起きてから夜寝るまで、さまざまな場所で、さまざまな相手に、言葉でのあいさつだったりハイタッチやグータッチ、または視線や表情で意思疎通を図ったりと、実にいろいろな「あいさつ」をしていますよね。毎日のこの積み重ねが、スムーズな人間関係の形成や円滑なコミュニケーション能力の育成などに、実は大いに役立っています。

例③ 自分でできることは自分で

着る服を自分で選んで着たり脱いだり、畳んでしまったりハンガーにかけたり、また食器やテーブルの準備をしたり、食べたいものを選んだり、皿やスプーンを持って食べたり等々…、自分でできることを少しずつ増やしていくことで「進路実現」に向けて着実に進んでいます。

例④ 人とのやり取り

学校や家庭での何気ないやり取りでも、自分の思いを相手に伝えるために分かりやすく話や文章をまとめたり、ものを使って説明したり、また時には実際にその場に手を引いて連れて行ったりと、自分の考えを相手に伝えようとすることや、相手に理解してもらえるように考えて表出することはとても大切です。また相手の言うことを理解し、自分の行動につなげることも、日常生活の中で自然に行っていることであり、全てが将来に向けての自分の力となります。また最近主流のSNS、これもうまく活用すれば進路実現に向けたとても大切な取り組みになります。相手や場面など状況に応じた配慮をしたり必要な情報を収集したり、またスマホなどの情報機器操作も知らず知らずのうちに身につきます。

上記はほんの一例です。他にも多くの場面で、皆さん知らず知らずのうちに将来に向けての準備をしており、これらの経験の積み重ねが自信となり「進路実現」のための武器となります。そしてこれらは、本人だけでなく家庭や地域と連携することで更に強固なものとなります。ぜひ多くの経験やかかわりを大切にし、将来の「進路実現」に向け、日々の”何気ない取り組み”を続けていってほしいと思います。



1 第33回(令和6年度)あはき国家試験結果

	あん摩マッサージ		はり師		きゅう師	
	全体	視覚障害	全体	視覚障害	全体	視覚障害
受験者数	1,160	190	4,150	157	4,094	151
合格者数	1,011	124	3,066	99	3,068	101
合格率(%)	87.2	65.3	73.9	63.1	74.9	66.9

2 第33回(令和6年度)本校卒業生の国家試験結果

	あん摩マッサージ指圧師	はり師	きゅう師
合格率(%)	受験者なし	100%(1名中1名)	100%(1名中1名)

※本校は、他校と比べても、毎年とても高い合格率になっています！

3 令和6年度卒業生の進路先について

	科	進路先
高等部	普通科 (4名)	進学(専門学校) 福祉サービス事業所(B型:指定障害者支援施設:自立訓練)
	専攻科理療科(1名)	就職:ヘルスキーパー

4 令和7年度 進路指導部 年間計画(概要)

4月: 新入生オリエンテーション 進路保護者説明会(理療科) 前期進路希望調査(小・中・高)	11月: 後期進路週間(中・高) 国家試験保護者説明会(理療科) 職場・施設見学(PTA研修)
6月: 前期進路週間(中・高)	2月: 移行支援会議(高3対象) あはき国家試験(理療科)
7月: 進路説明会 進路面談	進路だより②発行
8月: 進路だより①発行	3月: あはき免許申請業務(理療科)
9月: 後期進路希望調査(中3、高) ハローワーク求職者登録(高3対象)	通年: 進路関係機関訪問 進路開拓 卒業生アフターケア 特別実習(必要に応じて)



5 進路説明会について

7月11日(金)に開催された進路説明会では、本校が作成した「進路ガイド」の活用方法について、進路指導主事より詳しい説明がありました。「進路ガイド」を基に、本校の進路指導の考え方や、進路選択から決定までの流れ、卒業後の進路支援(アフターケア)についてご紹介しました。また、卒業後の豊かな生活や自立に向けた取り組みについても、保護者の皆さまと共有することができました。後半には、保護者同士で意見交換をしていただくグループワークの時間を設けました。

参加された保護者の方々からは、以下のような感想をいただいています。
・「先輩お母さんの話を聞けて、とてもありがたかったです。自分の悩みを話すことでアドバイスをもらえましたし、先生方も一緒に話を聞いてくださって、とても良い時間でした。」

・「先生のお話がとても勉強になりました。進学だけでなく、生活に必要な力を身につけることも進路指導の一環だと気づかされました。」
今後も、保護者の皆さまと連携しながら、生徒一人ひとりのより良い進路選択と自立に向けた支援につながるような、進路説明会を企画していきたいと思います。

6 本校 note のご紹介

本校児童生徒の活動を、本校 note で紹介しております。
<https://fukushimasb-shs.note.jp/>

進路関係では、6月～7月にかけて、高等部の前期進路週間を実施しました。進路週間中の各生徒の実習、見学、体験等の内容や気付き、得られた学びなどについては、note に紹介しております。



今後の進路について考える上で、中・高等部の保護者の皆さまはもとより、小学部の保護者の皆さまも、ぜひご覧ください。

7 進路コーナーの紹介

北校舎1階、児童生徒用昇降口から一番近い相談室に、進路指導部のコーナーがあります。廊下にも、学校案内や就労に関するパンフレットなど、進路に関する資料を置いております。本校に足を運んだ際など、ぜひご覧ください。

福祉等のサービスについては、基本的には、お住まいの自治体(市町村)にお問い合わせください。相談したい内容をお話いただくと、適切な相談窓口を紹介してもらえます。

また、進路に関わることで御質問等お持ちの場合には、進路指導担当、または担任までお気軽にお声かけください。



令和7年10月から新しい就労系障害福祉サービスがはじまります。

障害者本人が就労先や働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援する「就労選択支援」が開始されます。